

全国壮年大会in北九州のその後

昨年8月の全国壮年大会in北九州では、壮年・女性の枠を超えて、これからの協力伝道について熱く語り合うことができました。

その後、若松教会では昨年12月、求道中だった西南女学院職員の方がバプテスマを受けるといふ、嬉しい出来事がありました。全国壮年大会の開催に当たり、学校側の担当者として奔走して下さった方のお一人です。若松教会より喜びのご報告をいただいています。

1月21日(土)には連合壮年会例会が開かれ、今年度の振り返りと来年度のビジョンについての話し合いが行われました。22名の参加がありました。年に1回でも諸教会の協働を生み出すような楽しい行事を企画すること。壮年が少ない教会に出向いて、共に汗を流しながら草刈りや営繕作業を手伝うことなどが話し合われました。



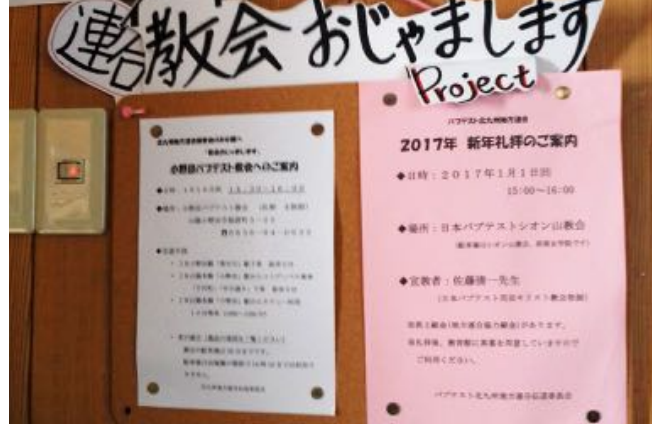
編集後記

昨年暮れには、宣教支援センター事務局の壁に貼った模造紙がいっぱいになるほどのクリスマスカードをいただきました。ありがとうございます。2016年は各個教会を越えての「交流」が盛んになった一年でした。2017年は「教会を元気にするのは教会である」を合言葉に、教会同士の「協働」に宣教支援センターが巻き込まれていくような一年にしたいと思います。今年もよろしくお願いします。



センター支援献金の輪を広げましょう

宣教支援センター支援献金は、諸教会の協働によって教会を元気にする運動を、個人的に応援するための指定献金です。今年度は180口(216万円)の目標達成を目指しています。諸教会でバプテスマを受けた方や転入会されてきた方に、いま一度センター支援献金の意味についてご説明いただきまして、草の根運動の輪を広げていただくと大変嬉しく思います。一口月額1,000円です。年度途中からのご支援を歓迎いたします。詳しくは各教会の推進担当者もしくはセンター事務局(東八幡教会内)までお問合せください。(運営委員長 山田雄次)



次回予告

巻頭言：岩崎一宏牧師(枝光)
おじゃまします報告：折尾教会

2月の予定

- 2月 5日(日)宣教会議(シオン山)15時半
- 10日(金)連合役員会(シオン山)17時半
- 11日(土)信教の自由を守る日集会 (シオン山)13時
- 19日(日)小倉教会山本龍一郎牧師就任式 15時
- 23日(木)教会おじゃまします ~折尾教会14時
- 26日(日)宣教支援センター運営委員会 (シオン山)15時半

宣教支援センターHP&Facebook

宣教支援センターのHP&Facebookが出来ました。以下のURLからアクセス可能です。是非、一度ご覧ください。

ニュースレターのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。
HP：<http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード：kitaq2015

連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 18号



発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2017年2月1日



連合新年礼拝が開かれました
教会の自己診断スケールを使ってみて(枝光教会編)
教会おじゃまします 南小倉教会・小野田教会
全国壮年大会in北九州のその後
写真：おじゃまします南小倉教会 (12/15 南小倉教会)



サポート教会の恵み 東八幡教会牧師 石橋 誠一(東八幡)

宣教支援センターが活動を開始して、2年になろうとしている。

東八幡キリスト教会ではほぼ毎週、宣教支援センターの調整会議が開かれ、センターの運営委員長である山田雄次先生と齊藤弘司主事、連合事務の牧野信栄姉と共に、サポート教会牧師として私も出席させていただいている。加えて、月1回の常任委員会、年3回の運営委員会と、宣教支援センターの会議だけで年間60回ほどの会議が持たれていることになる。連合の他の委員会が1、2ヶ月に1回くらいの頻度で開催されていることと比較すると、圧倒的に多い。それも当然で、教会間、委員会間をつなぐ働き人として専従の主事に立っていただいたことで、これまで点的な活動になりがちだった連合の諸活動を線的なものにしていこうとしているのだ。

私が神学生として福岡から北九州に通い始めたのが、2012年の4月である。当時、東八幡教会で持っていた「センター教会構想委員会」に、何もわからないまま、何度か陪席させていただいたり、連合の定期総会や宣教会議などでもセンター教会構想の議論を耳にしたりしていた。連盟の「地域協働『夢』プロジェクト(仮称)」に応じる形で始まった「センターチャーチ構想」は、その頃までには、1つの大きな教会が地域協働の核になるというイメージから、その役割を複数の教会で担う「センター的教会群」のイメージに変わりつつあった。しかし、その後の議論で、たとえ複数であっても、一部の教会がセンター的な役割を担うということでは、連合の全教会が関わるという意識になりにくいということから、それまでの議論の中にも存在した「宣教支援センター」が前面に出る形で再構想がなされ、今の形に整えられていった。

これまでになされてきた議論やそこに注がれてきたたくさんの方々の情熱を思う時、宣教支援センターの働きは今後ますます広がっていくべきものだと感じるし、もっと多くの教会、多くの人々を巻き込んでいくべきだと思わされる。そのようにして北九州連合の諸教会が「イエス・キリストの夢」に参加していく過程を、間近な所で目撃できるのは、センターのサポート教会に連なる者に与えられた恵みである。プロジェクト前期の残り2年も、しっかりとセンターの働きを支えていきたい。

連合新年礼拝が開かれました

1月1日(日)15時からシオン山教会で、連合新年礼拝がささげられました。18教会から81名の方がたが集まってくださいました。宣教は佐藤清一牧師(苅田)でした。佐藤牧師は干支の酉年にちなんで「取り集める」という視点から、マタイ福音書のからし種の譬えについて説き明かしてくださいました。からし種一粒の思いが私たちにあるかどうか。一つの選び取りは些細なことのように思っても、結果は大きく変わってきます。機構改革スタートの年にふさわしい宣教でした。

礼拝後に教育館1階ホールで賀詞交歓の時を持ちました。年始の挨拶がそこかしこで繰り広げられていて、新しい年の始まりを実感しました。

宣教支援センターのプロジェクトは3年目に入ります。開設期から成長期へとステージが移ります。諸教会においても成果を感じていただけるような働きにしていきたいと、決意を新たにしています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



教会の自己診断スケールを使ってみて(枝光教会編)

宣教支援センターでは、諸教会の教会形成に役立てていただく目的で、「教会の自己診断スケール【基礎編】」を発行しました。枝光教会では昼食後の時間を使って回答に取り組みました(1月15日)。「教会の自己診断」ということで、みんなでわいわいと語り合いながら、80問の質問に答えていきました。

集計結果を見て、枝光教会の特徴がはっきりと現れていることに、一同驚いた様子でした。13時から始めて、感想の分かち合いを含めて1時間で終わることができました。

枝光教会では「坂の途中の教会」プロジェクトの一環として、道路沿いの花壇の一角に、木製のベンチを設置しました。1月下旬には「みなさんのベンチです。ご自由にお座りください。ごゆっくり」というプレートを取り付けました。諸教会の励ましと祈りを受けながらの教会元気プランの取り組みも、締めくくりの時期を迎えました。3月19日(日)には防府教会との合同研修会を行い、それぞれの教会元気プランの振り返りをする予定です。

諸教会では新年度の計画を立てておられることと存じます。教会の姿を客観的に知る道具として、教会の自己診断スケールを用いていただけますと嬉しく思います。



第12回

南小倉教会を訪問しました

南小倉教会のおじゃましますプロジェクトは、教会に向かう道すがら、温かい出迎えを受けるところから始まっていました。雨交じりの天候にもかかわらず、14教会から64名の参加がありました。

礼拝では「交読宣教」というものを体験しました。司式者と会衆が交読文を読むような形で進められる宣教で、平和について考える内容でした。その土台は年間主題を対話的に考え、子ども達と共にことばを紡いでいく夏休みのデイキャンプがあると、谷本仰牧師から伺いました。



教会紹介では、主日礼拝や週報、掲示物に至るまで「相互対話」が意識されていることを感じました。また水ゼミ+水曜ごはんの取り組みを通して、地域が抱えている格差の問題に向き合おうとしていることも教えられました。上から下への教え込みではない方法を目指してのCS劇の体験も新鮮でした。

教会の信仰告白の受け取り直しの作業がヤマ場を迎えているとのこと。ゆっくりとした歩みながら、イエスに倣おうと果敢にチャレンジしている様子が伝わってきました。ありがとうございます。



第13回

小野田教会を訪問しました

教会おじゃましますプロジェクトは2年目に入りました。1月は小野田教会にお伺いしました。小野田めぐみ幼稚園のお迎え時間と重ならないように、開始時間を14時30分にしました。12教会から52名の参加がありました。

佐野牧師は2014年に園児のお母さんの葬儀を引き受けた時のことを振り返りつつ、現在会員4名の小さな教会が、幼稚園や地域の皆様方の助けを借りながら、イエスを証している現状をお話してくださいました。礼拝の後には幼稚園の施設めぐりツアーに出発。園舎が元々の教会堂であることが、床下に設けられたバプテストリーからよく分かりました。



分かち合いでは各分団に小野田教会の方に入っただき、参加者からの熱心な質問に答えてもらいました。

小野田教会の佐野牧師ご夫妻、山下さんご夫妻、そして小野田めぐみ幼稚園の先生方、本当にありがとうございました。

